

校長挨拶

目の前に広がる豊かな瀬戸の海と、大きく優しい高見山に抱かれて、穏やかに時の流れるここ高見小学校。令和5年度の幕開けです。

本校の学校教育目標は

未来を拓き 人間力豊かに 学び続ける高見っ子の育成

です。

予測困難な未来を切り開いていく必要のある「令和」を生きる子供達。求められる力も様々です。コロナ禍の3年間を考えてみても、一人一台のタブレットが貸与され、子供達は急速にICT技術を身に付けていきました。学習用アプリを児童自ら活用したり、電子黒板を使ってみんなの意見を共有したりする授業。このような姿は、コロナ禍以前の令和元年には想像すらしていませんでした。「今」にこだわることなく、未来を自ら切り開く児童の育成が急務です。

また、こんな時代だからこそ、人と人とのつながりや個性の尊重が大切だといえます。そして、新しいものにも果敢に挑戦し、学び続ける必要があるのです。

今、小学校で学ぶ子供達は、10年後、20年後には、向島を、尾道を、日本を支える大切な人材です。私達は、子供達の学びや生き方の「人間の根っこ(人間力)」を育てていきます。

自分も友達も大切に、郷土に誇りを持つ子供を育てていくために、保護者の皆様、地域の皆様のお力を借りながら「楽しい!」「分かった!」「もっとやってみたい!」と思う教育活動を創ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、これまで縮小してきた多くの学校行事や日々の学習活動も、工夫をしながら復活できるものと楽しみにしています。

どうぞご協力のほどお願いいたします。



『受け継ごう！

高見の豊かな自然と暮らし！よき伝統と文化を！』

令和5年4月

尾道市立高見小学校
校長 金子 恵子

